

HGG002-P02

会場:コンベンションホール

時間: 5月25日12:30-13:00

可降水量からインドネシア農業生産性の変動

Observation of crop productivity fluctuation based on precipitable water in Indonesia

海田 俊輝¹, プリマ オキ ディッキ^{2*}, 菅野 洋光³

Toshiki Kaida¹, OKY DICKY ARDIANSYAH PRIMA^{2*}, Hiromitsu Kanno³

¹岩手県立大学ソフトウェア情報学部, ²岩手県立大学ソフトウェア情報学部, ³東北農業研究センター

¹Fac. Soft. & Inf. Sci. Iwate Pref. Univ., ²Fac. Soft. & Inf. Sci. Iwate Pref. Univ.,

³National Agri. Res. Cnt. for Tohoku Reg.

インドネシアは、エルニーニョ現象の影響を受けやすい国であり、これまでに気象と農業収穫量との関係が報告されてきた。これらの研究が地上観測データを利用しており、同手法を他の地域に応用する場合、特に地上観測点のない地域では困難と考えられる。本研究では、衛星から入手可能な可降水量に注目し、可降水量と代表的な農作物の一つである稲の生産性との相関を調べた。インドネシアの主要な田植え季節にあたる11月-1月（NDJ期）および4月-6月（AMJ期）の2つの季節について県ごとに集計・分析した結果、NDJ期には複数年において正の相関が周期的に現れ、AMJ期には正と負の相関が交互に現れた。今後、これらの分析結果における気象学的背景を明らかにすることを試みる。

キーワード: Indonesia, 可降水量, 農作物生産性

Keywords: Indonesia, Precipitable water, Crop productivity